

# 福岡ランニングセンター(FRC)ニュース NO.46

発行日 2019年10月25日

発行責任者 西村文男

事務局 新日本スポーツ・福岡県連盟北九州事務所 〒806-0013 北九州市八幡西区清納1丁目1-10

TEL・FAX 093-662-9278

E-mail [krc-fn@jcom.home.ne.jp](mailto:krc-fn@jcom.home.ne.jp)

## 「第29回みずまき月例マラソン」

### 久しぶりのマラソン日和と コスモスに癒された

第29回みずまき月例マラソンを10月20日(日)開催しました。

前日準備の時点では一時雨模様で、サイクリング道路上には大きな水溜りもあって不安を抱えて当日を迎えました。

しかし天候は曇りで薄日が差す程度、微風で絶好のランニング日和となりました。

10月26日・27日は水巻町のコスモス祭があります。

河川敷のコスモスも7分以上咲いており、ランナー、スタッフ、応援の皆さんの目を楽しませてくれました。

この日の最高齢者は門司港レトロマラソンでも紹介された77歳の高井英範さん。元気な走りにゴール前、会場から拍手が沸いていました。

今回の参加者は51名、うち新規登録者が9名でした。これで登録者合計は294名になりました。また、今回も参加者からフルーツの差し入れがありました。



右側が高井さん

## 第5回のおがた新春マラソン1000名に迫る!

来春1月12日(日)開催の「第5回のおがた新春マラソン」の参加者が1,000名を超える所まで来ました。締切はインターネットでは11月14日まで、ランネットまたはスポーツエントリーで受け付けています。事務局受付は郵便振替で11月21日までです。

但し、定員1,500名になり次第締切となりますので、参加される方は早めに申込みをしてください。

## 標語コンクールで最優秀賞

月例マラソンスタッフの原田祥二郎さん(77歳)が県防犯協会連合会が実施した本年度の標語コンクールで最優秀賞を受賞され、10月11日付の西日本新聞に掲載されました。

今回、最優秀賞を受賞した作品は「ねらわれるながら歩きと 暗い道」。一般の部で県内142点の応募の中から、トップに選ばれ、福岡市東区で5日、表彰式がありました。

原田さんは「選ばれないことの方が多いので、いつでも受賞はうれしい。目標は受賞200作。脳の活性化にもなるので、まだまだ応募を続けていきたい」と意欲を見せています。

原田さんはこの月例マラソンが始まった頃、ランナーズ通信員をしていて、この月例マラソンがランナーズ賞にふさわしいと最初に推薦して頂いた方です。現在は、この月例マラソンの古賀駐車場の給水所で奥さんと一緒に、ボランティアで協力していただいています。

## 《役員だより》

皆さん、福岡ランニングセンターが加盟する新日本スポーツ連盟の機関紙「スポーツのひろば」をご存知でしょうか。最新号の目次をみると、「スポーツの前にはダイナミック・ストレッチを」「スポーツはかきねを越えて」「国際交流フランス訪問2」そして「2019 反核平和マラソン」の北海道、滋賀、広島～長崎の取り組みの記事が載っています。年10回発行で送料込み3,600円です。それから、来月には新春マラソンの申し込みが締め切りとなります。まだの方は是非ご参加ください。(渚上)